

住職の写真日記より【令和2年9月】

8月までお休みだったお寺の法要（行事）も、9月から時間を短縮しての再開、お寺参りを楽しみにしていた方々の笑顔を見ることができて嬉しくなりました。法座が開けるのを当たり前のように思っていました、決してそうではなかった事に気づかされた半年でした。



1日 阪神・藤川引退

今季限りでの引退、ずっと応援してきた選手だったので、とても寂しいですね。

3日 恵庭の叔父が急逝

恵庭ではちょっとした有名人だった叔父は、いろんな事に取り組んだ方でした。88歳

5日 今年初の報恩講出勤

コロナでほとんどが院内勤めをする中、洞爺湖町の徳浄寺さん1カ寺だけお参り。



6日 広島に友人から

呉市にあるバターケーキ、商品はこれしかないのに大人気、うちの坊守もこのケーキの大ファンです。

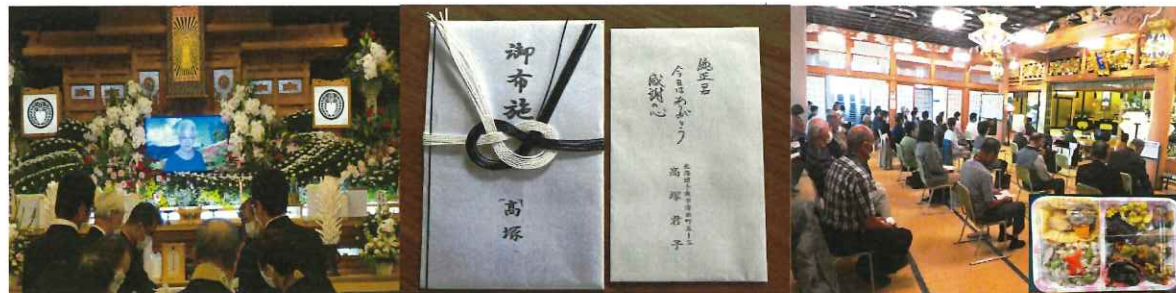
7日 前坊守85歳に

おかげさまで今年も元気に誕生日を迎えられました。本州の弟と妹から、いつものようにお花が届きました。



17日 お寺の中にホテル

京都にある浄土宗のお寺だそうです。こういう発想はなかったです。機会があったら泊まってみたいですね。



21日 叔母の葬儀。満78歳でした。

8月の叔父に続いて叔母もお浄土へ還っていかれました。何か信じられない感じです。ホントにお寺そして私たち家族を支えてくれました。右は、11年前、ご主人の法要の際に当時小4の息子にいただいた初めてのお布施です。

24日 彼岸会法要

50名以上の方のお参りになりました。終了後、坊守の友人による手作り弁当の販売、おかげさまで完売！

坊守の独り言

8月、9月と近しい親戚が立て続けに亡くなりました。

いつも高塚家を陰から支えて下さったお二人でした。

一連の葬儀を通して、改めて「お勤め」って有難いなって感じました。

普段は意識しないでお勤めしていますが、枕経のお勤めは「亡くなった」事の受け止め、お通夜のお勤めは「生前の感謝」の想いで、お葬儀のお勤めは「いよいよ仏様になるんだ」と、お骨上げ法要は「今の命を精いっぱい生き抜こう」と。

このゆかり通信を読んでくださっている方々は、主に月参りをされている方々です。この月参りがみなさんにとって有意義な時間でありますように。